

市教委がスクールバス等運行の新基準(案)発表 路線バス、スクールバスなど全市域無料化へ

市教委は3日に開催された市議会文教経済常任委員協議会で「通学援助費、スクールバス等運行の新基準(案)」を明らかにしました。

それによると、小学校で片道3km以上、中学校で片道5km以上の遠距離を路線バスやスクールバスなどで通学する児童・生徒に対し、平成22年度から、左下表の新たな基準により通学の支援を行うとしています。なお、所定の距離に満たなくても、安全確保などの配慮が必要ないところは特例も認められています。

この結果、各地域で実施してきたこれまでの通学支援制度は維持するとともに、保護者負担は無しとし、どの地域でも同等の支援ができる

よう対象を広げることになりました。これは通学支援の維持強化を求めてきた各地の関係者にとって朗報です。

この問題については、これまで日本共産党議員団が保護者負担なしの通学支援を求めて系統的な取り組みをしてきました。また、吉川区や大湊区などの地域協議会でも負担ゼロや軽減を求める意見書が提出されてきました。こうしたなか、9月定例議会では、日本共産党の上野公悦議員の質問にたいして中野教育長が、「将来を担う子供たちの教育は、社会の財産であり、

義務教育における子供の安全性の確保や保護者の負担軽減は教育行政として積極的に取り組むべきもの。できる限りの対応をすべきものと考えている」と答えていました。また、その後に実施された市長選においては、村山秀幸候補が各地の運動を受けて「通学バスの無料化」を公約のひとつにかかげました。

委員協議会では、新基準(案)を歓迎するとともに、公平な措置となるよう一層の努力を求める発言がいくつもありました。

新基準(案)は、今後、地域協議会への報告、保護者へのお知らせなどを経て、来年4月から実施に移される予定です。

14日に一般質問で登壇予定

今議会での一般質問の発言通告者は21人、私は18番目です。今回の私の質問項目は、市長の政治姿勢などです。早ければ14日の午前11時半過ぎの登壇となりそうです。

シリーズ 上越市内の橋

第18回 直江津橋



「直江津橋」と書いて「なおえつばし」と読みます。県道県道三ツ屋中央線にあり、関川の下流から二つ目の橋です。

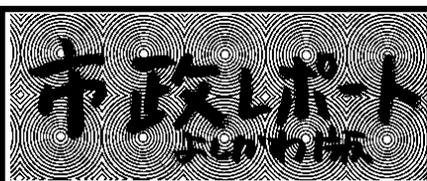
この橋の欄干には、森鷗外の小説『山椒太夫』の物語のレリーフが飾られています。安寿と厨子王の姉弟が母親と生き別れ、のちに厨子王が母と再会する場面まで描かれています。橋長は約238メートル。1988年(昭和63年)竣工です。

保護者負担の各地域の現状

	スクールバス		通学援助費	
	負担あり	負担なし	負担あり	負担なし
合併前上越市	○		○	
安塚区		○		○
浦川原区		○		○
大島区		○		
牧区		○		○
柿崎区		○		
大湊区	○		○	
頸城区	○		○	
吉川区		○		○
中郷区		○	○	
板倉区				○
清里区		○		○
三和区	○		○	
名立区		○		○
合計	4	9	5	7

新基準(案)での支援内容…保護者負担なし(全額無料)

通学手段	支援の内容
自転車(中学生)	5km以上の通学区域の者で自転車通学をする者に予算の範囲で補助
自家用車	小学生で片道3km以上、中学生で片道5km以上を自家用車で送迎する者に予算の範囲で補助(スクールバスなど通学手段がない場合)
公共交通機関(路線バス、電車)	定期券の支給又は定期券代の総額を補助
スクールバス	利用料は無料
タクシー	予算の範囲で実費額を補助(他に通学方法が無い場合)



NO 1426
2009.12.6

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一
Tel 548-3628 (有線) 4867
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/

吉川ケーブルテレビの運営等で

再びアンケート調査実施へ

11月30日の夜、吉川区地域協議会の傍聴に出かけました。市内の地域協議会は10月から合併前上越市の区域でも設置され、地域協議会に対する関心が高まりつつありますが、会議室に入ってびっくりしました。直江津区と大潟区の地域協議会委員の4人の方が来ておられたからです。みなさん、新聞記者並みにメモをとっての傍聴です（写真）。なかなか意欲的ですね。

今回の地域協議会での議論の中心はケーブルテレビ問題です。平成23年7月の地上アナログ放送の終了に伴い、よしかわ2チャンネルのデジ

タル化に向け、来年度中に改修工事を計画していますが、吉川ケーブルテレビ事業の運営やサービス提供のあり方等を検討するためアンケート調査をすることになりました。

アンケート（案）をめぐり、「一軒に一枚しか用紙を配布しないのなら、家族で話し合っけて記入してほしいと書いてもらうか」「告知端末の寿命がきている。そのことがアンケートに反映されていないのではなか」と書いたらどうか」等の声が相次ぎました。アンケートは利用の実態を把握するのが目的だとの総合事務

所の説明でしたが、今後、ケーブルテレビをめぐって開かれる予定の行政懇談会ではたくさんの方の意見が出そうな気がしました。

防災無線についても報告がありました。市では、全市共通の防災無線を昨年度から4年がかりで整備しているところですが、吉川区では今年度と来年度に緊急情報の内容と伝達方法の充実に向けた整備が行われます。

情報内容の充実という点では、これまでからの緊急放送に加え、市役所本庁や消防庁が発表する「緊急地震速報」などの緊急情報をケーブルテレビの告知端末で伝えられます。伝達方法も充実されることになりました。これは来年度になります。区内19か所（いずれも予定地です。左表参照）で屋外スピーカーが設置

されません。また、ケーブルテレビの告知端末がない世帯や事業所を対象に戸別受信機が貸与されることになりました。

（株）杜氏の郷の昨年度決算赤字 市は経営改善に自信

3日の市議会文教経済常任委員協議会で（株）杜氏の郷の経営について観光振興課から報告がありました。

それによると、昨年7月から今年6月末までの同社の純利益は、前年比1618万円減で、純損失が1309万8000円となりました。この大きな要因は大口取引先の倒産によるものといえます。

委員協議会では、この報告に対して委員から、「コンサルタント報告はこの程度でいいのか」「このまま下降していった時はどこで見切りをつけるのか」「倒産した（大口取引先）の影響額を数字で示してほしい。倒産がなかったら改善するのか」などの質問が相次ぎました。

答弁に立った市側は、「コンサルタントの報告後の5か月は黒字となっている。前期は風評被害があったが、その後、市の介入で盛り返した。しかし、倒産のあたりで売り上げは減となった。いまは酒はプラスに転じ、アイスクリームも黒字の見通しとなっている」などのべ、経営改善に自信を示しました。

今年度の事業実績がどうなるか注目です。



	局名（仮）	施設名（仮）
1	吉川区総合事務所	吉川区総合事務所
2	川谷	吉川地区公民館川谷分館
3	坪野	スカイトピア遊ランド
4	山直海稲古	源地域生涯学習センター
5	山直海川袋	川袋公民館
6	国田	国田消防小屋
7	東田中	公民館東田中分館
8	道之下	道之下消防小屋
9	河沢	河沢消防小屋
10	片田	片田消防小屋
11	川崎	川崎消防小屋
12	泉谷	公民館泉谷分館
13	泉	泉ふれあいセンター
14	赤沢	赤沢ふれあいセンター
15	下中条	下中条消防小屋
16	代石	代石消防小屋
17	杜氏の郷	道の駅杜氏の郷
18	梶	梶公民館
19	西野島	西野島生産組合農機格納庫